

## 竹から生まれた抗菌防臭剤

# 鳥インフルに効果 大学と実証

竹を材料にした機能性製品メーカーのタケックス・ラボ（大阪府吹田市、清岡久幸社長）は31日、モウソウチクの抽出物を使った同社の抗菌防臭剤が、鳥インフルエンザウイルスに対し、約1カ月間の除菌効果を持つとの研究成果を、鳥取大学と共同でまとめた。同製品は液体を噴霧して除菌・消臭を行うが、液体が乾燥後も竹由来の有効成分が表面に残っていれば、ウイルスの増殖を抑えることができる。インフルエンザの世界的な流行をうけ、今秋にも大手薬品メーカー向けにOEM（相手先ブランドによる生産）供給を行い、一般消費者向けの販路を確保する方針だ。

同実験は、鳥取大学農学部付属の「鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター」（伊藤壽啓センター長）が実施したもので、同社の抗菌防臭剤「タケックスクリーン」の噴霧後、一定期間乾燥させた容器に鳥インフルエンザウイルスの水溶液を加え、除菌効果を測定した。実験によると30日間、放置した容器でもウイルスの9割超が感染しない状態となったという。

同社は、モウソウチクの表皮から有効成分を抽出し、製品化する特許を保有しており、人体に影響のない竹の抗菌成分を生

抗菌防臭剤「タケックスクリーン」を製造・販売するタケックス・ラボの清岡久幸（くみ）社長。鳥取大学と共同で、鳥インフルエンザの除菌効果が1カ月間、持続するとの研究結果をまとめた



かした抗菌防臭剤や食品用の防腐剤などの製造販売を行っている。従来は業務用ルートでのみ販売していたが、今年10月からは、森下仁丹にタケックスクリ

ーンをOEM供給し、一般消費者向けに全国発売することが決まっており、インフルエンザの流行が本格化する冬を前に、市場拡大を図る考えだ。

2009年8月 1日(土) フジ産経ビジネスアイ